

---

# クレヨンのあめ

りも

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

クレヨンのあめ

### 【コード】

N9906X

### 【作者名】

りも

### 【あらすじ】

ママ、あのね。

小さな姉妹のおえかきと、おしゃべり。

ママ、あのね。

今日ね、庭に知らないネコがやってきて、わたしと妹に、七色のふしぎなクレヨンをくれたの。

「これはふしぎなクレヨンだよ」って。

「なんでも好きなものをかいてごらん」って。

「かいたらそれがほんとうになるよ」って。

わたし、うれしくって、ネコの絵をかこうと思ったら、もう、ネコはいなかったの。

「おうちに帰ったんだよ」

って、妹が言うの。

「ねえ、おねえちゃん、りんごの絵、かいて？」

って、妹が言うからね、わたし、赤いクレヨンで、まあるいりんごの絵をかいたの。

そうしたらね。

ほんとうに、ほんものまあるいりんごが、ほんと、紙の上に飛び出したの。

わたし、まだ、包丁が使えないから、妹と二人で、かじったの。

おいしかったの。

「ほんとうにふしぎなクレヨンだね」

って、妹と二人で言ったの。

それからね。

橙色のクレヨンで、みかんをかいて、妹と半分こして、食べたの。  
黄色いクレヨンで、レモンをかこうと思ったけど、妹と考えて、レ

モン色のまあるいあめだま二つにしたの。虫歯になっちゃうかな、ママ？

緑色のクレヨンで・・・今度はなにをかこうかなって、いろいろ考えて、ピーマンをかこうとしたら、妹が、いやがったの。

「それより、お庭の木をかいて」  
って。

それで、庭の木をかいたの。

青色のクレヨンで・・・空をかいたの。

青紫色のクレヨンで、地面に、池をかいたの。

紫色のクレヨンで・・・池のそばに、花をかいたの。

「ねえ、おねえちゃん、わたし、この木に、のぼりたい」

って、妹が言うからね、妹と二人で、のぼったの。

ほんとにのぼれたの。

「あのネコみたいだね」

って、妹と二人で、言ったの。

妹は上を見て、青い空を見て、わたしは下を見て、青紫色の池を見たの。

紫の花はね、ママが好きな、あやめの花なの。うまくかけなかったけど。

妹が、泣き出したの。

青紫色の池に雨が降ったの。

わたしは、

「おうちに帰ろうか」

って言って、妹と二人でおうちに帰ったの。

それから、二人で、ママの絵をかいたの。

そうしたらね。

「ただいま、おそくなってごめんね？」  
って、ほんもののママが帰ってきたの。

・・・あれからママと妹と三人で、ふしぎなクレヨンを探したんだ  
けど、どこにも、なかったの。  
だけどね、あの絵の青い空には七色の虹がかかったの。

「ほんとうにふしぎなクレヨンだったね」  
って、ママと妹と三人で言ったの。

おしまい。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n9906x/>

---

クレヨンのあめ

2011年10月28日14時09分発行